

富士吉田 市婦連だより

発行
富士吉田市連合婦人会



会長 長 渡邊 富江

あいさつ

富士の雪解け水がキラキラ輝き、暖かな日に春の訪れを感じるこの頃。今年度も皆様の御協力のもと、会員の皆様と様々な活動を行い実りある年を送る事が出来た事に感謝申し上げます。

さて、本会は「女性が活躍できる地域づくり」を重点目標に今年も活動を行って参りました。まず、赤十字奉仕団として高齢者の方々への慰問奉仕活動や献血の推進を行い、募金活動では能登半島地震や奥能登豪雨など度重なる災害に見舞われた石川県に日赤を通し、ふれあい募金（1円玉募金）より義援金を贈らせていただきました。



道の駅富士吉田にて富士山登山鉄道反対署名活動

また、長年継続しております交通安全母の会活動では毎月10日、市内5か所において、シートベルト着用調査を行うなどの交通安全啓発を富士吉田警察署と連携して行いました。

環境活動としては、環境フェスティバルへ参加する他、世界遺産である富士山の環境を守るべく、県が推奨した富士山登山鉄道構想について疑問を持ち、一石を投じるために反対署名活動を行いました。

更に、今年のご縁をいただき、南アルプス市の女性団体連絡協議会の皆様と男女共同参画の推進、子育て支援、食育、防災など幅広く暮らしに関わる身近な問題の改善・取り組みについて意見交換をさせていただきました。

こうした活動を通じて今後も会員の連携をさらに深め、より一層地域に貢献できるように努めて参ります。今後とも市民の皆様のご支援をどうぞよろしくお願い致します。



南アルプス市女性団体連絡協議会と意見交換

令和6年度定期総会 婦人会幹部研修会



4月18日、定期総会が開催されました。当日は富士吉田市市長はじめ、多くの来賓のご臨席を賜りました。

その後の幹部研修会では、日本赤十字社山梨県支部の佐藤様より赤十字の理念を、市の防災支援員から能登半島地震の状況について画像を交えながらお聴きしました。

地域での活動の重要性を強く感じた有意義な研修会でした。

富士吉田市婦連だより 第27号発刊に寄せて



富士吉田市長
堀内 茂

富士吉田市長あいさつ

「富士吉田市婦連だより第27号」のご発刊、誠にありがとうございます。

富士吉田市連合婦人会の皆様には、日頃より、市政への多大なるご協力のもとより、このまちを支えていただいておりますことに厚くお礼申し上げます。昨年も、交通安全運動や献血ボランティア、また、「市民夏まつり」における壮大な踊りの披露など、社会を支える精力的なそのご活動に改めて敬意を表します。

そして、そうしたご多忙の中にもかかわらず、我々の宝である富士山を守るため、会をあげて全力で働きかけてくださったことに改めて深く感謝申し上げます。

近年、時代の変化と共に地域の人と

人とのつながりが希薄化し、孤独や孤立など、地域コミュニティの形成が難しくなってきたと言われていると思います。活力と魅力あふれるまちづくりのためには、地域コミュニティは不可欠であり、こうした時代の中での皆様の活動は、地域を支える原動力であります。皆様におかれましては、引き続き活力と魅力あふれるまちづくりのために、お力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びに、富士吉田市連合婦人会の今後ますますのご発展と会員皆様のご健勝を心からお祈り申し上げます。挨拶とさせていただきます。



富士吉田市議会議長
宮下 宗昭

富士吉田市議会議長 あいさつ

「富士吉田市婦連だより第27号」のご発刊、誠にありがとうございます。

富士吉田市連合婦人会の皆様には、女性ならではの柔軟な発想やきめ細やかなお心配りにより、地域に根ざした活動を幅広く推進していただき、心か

ら感謝申し上げます。

昨今では、様々な分野で女性の活躍に接する機会が数多くあります。

昨年は元日の能登半島地震にはじまり、豪雨被害といった自然災害が頻繁に発生しております。社会情勢では、人口減少や少子高齢化が進むとともに円安による経済不安もありました。一年で時代の流れは、目まぐるしく変化しております。

このような状況だからこそ、地域住民の結束力が大切であると痛感しております。どうか、皆様方におかれましては、婦人会の活動を通じて、引き続き、富士吉田市を活気づけていただき、ひいては持続可能な社会の実現にお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

市議会といたしましても、明るく住み良いまちづくりのために、皆様方と共に尽力して参ります。

結びに、富士吉田市連合婦人会が渡辺会長のもと、ますますご活躍されることをご祈念申し上げ、あいさついたします。

東京臨海広域防災公園「そなエリア」研修

6月7日、赤十字奉仕団活動の一環として防災会館の研修に参加し、国や自治体の支援がくるまでの3日間

（72時間）の中で何をすべきかを学びました。

体験エリアでは、タブレット端末を手に被災直後取るべき行動を質問に答えながら移動しました。それまでの自分の常識の間違いに気づく良い体験でした。

災害時にどれだけ冷静に行動できるか、一番大切なのは命、人を助ける事。私たちの住む富士吉田の安全な場所を改めて確認したいと思いました。



シートベルト着用調査

調査は毎月10日に市内各所で行っており、大明見では午前7時30分から8時まで明見第一駐在所前にて実施しています。

朝の通勤・通学時間のため小中学生の登校を見守りながら、多くのドライバーの皆さまにシートベルト着用の意識定着をアピールできていると感じています。

調査結果では未着用者はほぼおらず、長年の活動の成果を感じます。今後も地域の交通安全のために続けていきたい活動です。



交通安全運動推進会議



「春の全国交通安全運動」に先駆け、推進会議が開かれました。

婦人会は交通安全母の会として役割を担い、この会議には毎回出席し地域の交通安全に関する課題や取り組みなどを共有しています。近年は外国人旅行者のレンタカー利用が増加しておりそれぞれの国の規則や文化などの違いによる事故の発生が増加しています。

私たち自身の暮らし、観光客、どちらにおいても交通安全が向上したらと思います。

春の交通安全街頭指導

4月8日、早朝より春の交通安全街頭指導が実施されました。

交通安全運動に関わる数多くの方々が参加され、市役所周辺にてドライバーへの安全運転のお声掛けやグッズの配布を行いました。

ドライバーの皆さまには、通勤時間にも関わらず車の窓を開けて対応していただき、ありがとうございました。

一人ひとりの運転に対する気持ちと努力で交通事故を無くす事が出来たらと日々願っています。



泉瑞祭



6月1日、泉瑞祭が行われました。この祭事は、富士吉田市民の生活を支えてきた湧き水に感謝し毎年実施されています。

今から830年前、源頼朝が富士の巻狩りの際に部下の将兵の喉を潤そうと神に祈り岩を鞭で打ったところ、霊水が湧き出したと伝えられています。

当日は晴天に恵まれ、現地で無事に式典が挙行されました。上吉田連合婦人会は富士吉田連合婦人会の皆さまのお力添えをいただき、3曲の踊りを奉納出来たことに感謝致します。

富士山開山祭

6月30日に富士山の山開きを告げる開山前夜祭が行われました。婦人会も白装束で富士講信者とともにパレードに参加しました。



その後、北口本宮富士浅間神社において夏山登山の安全祈願や穢れを払う「夏越大祓」、「お道開き」などの儀式にも参加させていただきました。婦人会では踊りを奉納させていただきました。とても貴重な体験となりました。



市民夏まつり

7月27日、昨年と同様に富士吉田市制祭「市民夏まつり」が開催されました。夕方から、婦人会総勢90名で夏まつりに相応しい踊りを3ヶ所で披露し、メインの中銀会場では、会長を中心に副市長や教育長、議長の方々と市民の皆さまと共に盛大に踊りの披露ができました。

踊りは日頃から練習を重ね、雄大な富士山と夕日が忘れられない素敵な1日になりました。応援していただいた皆さまには心より感謝申し上げます。ありがとうございました。



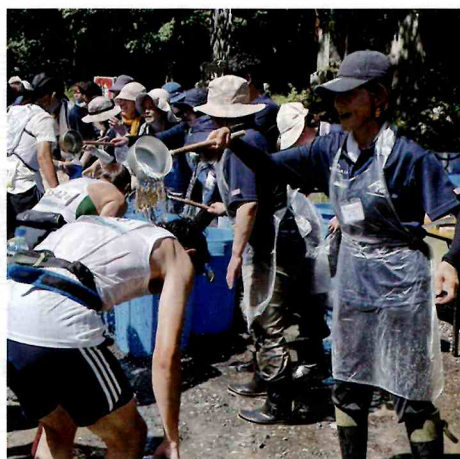
環境フェスティバル

7月21日に、エコ実験パフォーマンスのらんま先生のサイエンスショーが開催されました。「水とエコ」「表面張力の謎」など会場で行われた実験に多くの親子が驚き、喜び、拍手を送っていました。ギネスにも認められた世界一の大型空気砲は大人気でした。やっぱり素晴らしい！と思いました。

らんま先生の話術と楽しい実験で参加者全員の笑顔あふれる時間でした。もっと参加者が増え、環境や地球の未来について学んでいけたらと思います。



富士登山競走給水ボランティア



7月26日に第77回富士登山競走が開催され、私たち婦人会は中ノ茶屋にて給水ボランティアとして参加しました。

市役所をスタートし、一気に駆け上がってきたランナーに頭から柄杓で水をかけたり、水やレモンなどを提供しました。気づくと自分たちもびしょ濡れになりながら声援を送っていました。

この偉大な富士山で長きにわたり行われてきた大会が、これからも続く事を願っております。



恩賜林草取り

9月4日に、恩賜林庭園の草取りを行いました。小雨が降る肌寒い中で作業を始めましたが、皆の意気込みが天に届いたのか次第に晴れてきて、後半は暑さで日向での作業は厳しいほどでした。休憩時間にはそれぞれの地区の婦人会役員の方々と団欒することが出来、とても充実した時間でした。慣れない作業で体も痛くなりましたが、作業終了時にまとめた草の多さに疲れも吹き飛びました。



富士山環境美化クリーン作戦

9月14日、「富士山をきれいにする会」主催の清掃活動が閉山後の5合目を中心に実施され、婦人会も参加しました。朝から天候に恵まれ、富士北麓公園での出発式後にバスで5合目に向かいました。美しい景色をみながら



ロータリーから佐藤小屋までの清掃を行いました。

富士山が世界遺産になり多くの観光客が訪れていますが、一人ひとりがマナーを守り、美しい富士山を後世に引き継ぐ事が大切であると感じます。

富士吉田市の関係人口創出と地域活性化に関する調査研究 慶應連携ワークショップ

9月に慶應連携ワークショップに参加しました。県外からの移住者と市内在住の私達、高校生2人の6人のグループで富士吉田の良い所、好きな



所、楽しみ方を話し合いました。

当たり前の様に毎日見ている富士山ですが、何処から見た富士山が一番好きか、富士山からの水が美味しい事、外国人に人気の本町通り、西裏の事など、活発な意見交換が行われ知らなかった富士吉田も発見出来ました。もともと富士吉田の魅力、日本中、世界中の人に知っていただきたいと思いました。



南アルプス市女性団体連絡協議会との懇談

9月19日、南アルプス市より女性団

体の皆さんを迎え、意見交換会を行いました。これは、富士吉田の婦人会が活発に活動している様を知りたいという要望のもと開催されました。

双方の活動や課題など、時間が足りないと思えるほどたくさんの意見や質問を交わしました。地域で活動する女性どうし共通する悩みも聞かれましたが皆さんのパワーと笑顔に様々な気づきをいただいた良い機会でした。



南都留地域教育推進連絡協議会



6月14日、勝山ふれあいセンターでの協議会に参加しました。総会の後、日本教育相談学会山梨支部長の内藤雅人氏による「子ども達の心をどう育てるか」と題した講演が行われました。この講演を受講し、子育ては家庭だけでなく、地域社会が連携して支援していくことが必要である事を学びました。とても良い機会となりました。

赤十字ボランティア 芙蓉荘慰問奉仕

婦人会は、新型コロナウイルスが発生する前は赤十字奉仕団として福祉施設でのボランティア活動を行っていました。

数年にわたり自粛していたその活動の一部を今年度再開することが出来ました。市内の高齢者施設において利用者さんと一緒に身体を動かしたりお話をしたり、また、入浴後の髪をドライヤーで乾かして差し上げたりもしました。利用者さんの笑顔と「ありがとう」の言葉がとても嬉しく私たちも元気をいただける活動でした。



赤十字ボランティア基礎研修会

9月26日に、山梨赤十字会館で6年ぶりに研修会が行われました。婦人会活動の中では、社会奉仕活動として赤十字ボランティア活動があり、献血や高齢者施設の訪問、ふれあい募金など

を行なっています。

この研修会に参加し、これからも赤十字ボランティアとしての自覚を持ち、意識の高揚を図るとともに、基本的な知識と技術を学び、主体的に活動できる婦人会にしていきたいと思っています。



赤十字救護訓練

10月2日、河口湖町民体育館において災害救護訓練が行われました。参加者は2つのグループに分かれて応急手当と炊き出しを学びました。

赤十字奉仕団の一員として、今後発生が予想される東海地震をはじめとする



る大規模災害に必要な技能と迅速な行動を学ぶ有意義な機会でした。

赤十字献血ボランティア



6月14日、献血ボランティアに参加致しました。この日は「世界献血デー」で、献血をして下さった方からミニカードへ一言メッセージをご記入いただくイベントも開催され、そのお手伝いも致しました。

ミニカードには「無償の愛」や「誰かに役に立てれば」などのたくさんの温かいメッセージが綴られ、私たちも心から「献血ありがとうございます」という気持ちでいっぱいになりました。

「献血は命を繋ぐボランティア」であり、これからも献血への理解が深まり、献血の輪が広がっていく事を願っております。

10月22日、日本の美のおもてなしの心が詰まった目黒雅叙園の百段階段を満喫しました。画壇の重鎮達が手掛けた天井や壁画は色とりどりの美の世界でした。



日本のオリンピックの発信拠点であるオリンピックミュージアムではその歴史や意義を知り、自ら考え体験し学ぶことが出来ました。築地の散策もし、天気に恵まれ、有意義な1日でした。



令和6年度も市民の皆様のご協力に感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。

産地の変更等、ご迷惑をお掛けした事など反省する課題がたくさんあります。また、値上りした品物もあります。ご理解頂けたら幸いです。新たに取

賞味期限2年
(常温)賞味期限10ヵ月
(常温)

賞味期限4力月
(要冷蔵)



1本450g
2,500円
(税込)

(1 円募金)

り扱う北海道恵山産の昆布は味わいの深さに定評がある早煮昆布です。

令和7年度も引き続き、婦人会活動へのご協力をお願いすると共に市民の皆様さまに認めて頂けるよう努力していきたいと思っておりますので宜しくお願い致します。

今年度も市民の皆様にご協力いただき募金活動が出来ました。下記の通り、配分しお贈りしました。ありがとうございました。



令和6年度役員

民謡舞踊指導

宮堀勝渡渡（大明桑（上槇下渡栞渡小渡梅渡
下内俣辺邊大見原由吉田田智香田邊原辺野辺原邊
和美子子美美長佳長香長かおる美津枝代子利富江

◎ふれあい募金（1円玉募金）のご報告

・下吉田地区	67,942円	・上吉田地区	50,000円
・大明見地区	50,000円	・市 連	6,540円
		合 計	203,841円

◎配分内訳

・富士吉田市社会福祉協議会	100,000円
・赤い羽根共同募金	30,480円
・令和6年9月能登半島大雨災害（日本赤十字社）	30,000円
・市連災害備蓄金	14,002円
合 計	174,482円

各地区婦人会の様子

●下吉田地区●



新年互礼会にて

下吉田地区婦人会は6地区で構成されています。

4月の総会から始まり、年度の前半は様々な行事がある中、夏まつりに向

けての踊りの練習もあり、汗を流しながら皆で励みました。始めは戸惑いもありましたが次第に交流が深まり、本番では協力しあい成果を披露することが出来ました。

1年間活動に参加、お力添え下さった下吉田地区31名の皆様とご家族のご理解に心から感謝申し上げます。ありがとうございます。

●上吉田地区●



すすき祭りにて

霊峰富士の麓、上吉田地区で行われる様々な神事に今年も参加しました。4月の胎内祭、6月は泉瑞祭、7月は開山祭、8月は夏の終わりを告げる鎮火祭やすすき祭りなど。

特に毎年、事業の一つとして行っている「すすき玉串」は購入していたたく頃に雨が降りだしてしまいました。が、終えた後の達成感と、皆で一致団結できた事業でした。

この様に、地域の諸行事に参加させていただき良い思い出となり感謝しています。

●大明見地区●

11月14日、杓子山パノラマトレイルランが開催されました。実行委員会を中心に各種団体が一丸となつて行われ、私たちも受付と表彰式を担当しました。

今年では世界選手権日本代表選考会を兼ねており、一流の選手から杓子山の絶景を楽しむ一般の選手まで、多くの参加者で盛り上がりました。青空に富士山が映え気持ち良い1日でした。

1年を通し様々な活動に参加し、貴重な経験と喜びをいただきました。ありがとうございます。



杓子山パノラマトレイルランにて

編集後記

会員の皆さんが執筆して下さった原稿をまとめながら、自身も1年を振り返りました。「一番暑かった夏」は会員総出の活動も多く、喜びと達成感と一緒に汗も相当流しました。

今年度も充実した活動の様子をご覧頂けたら幸いです。

